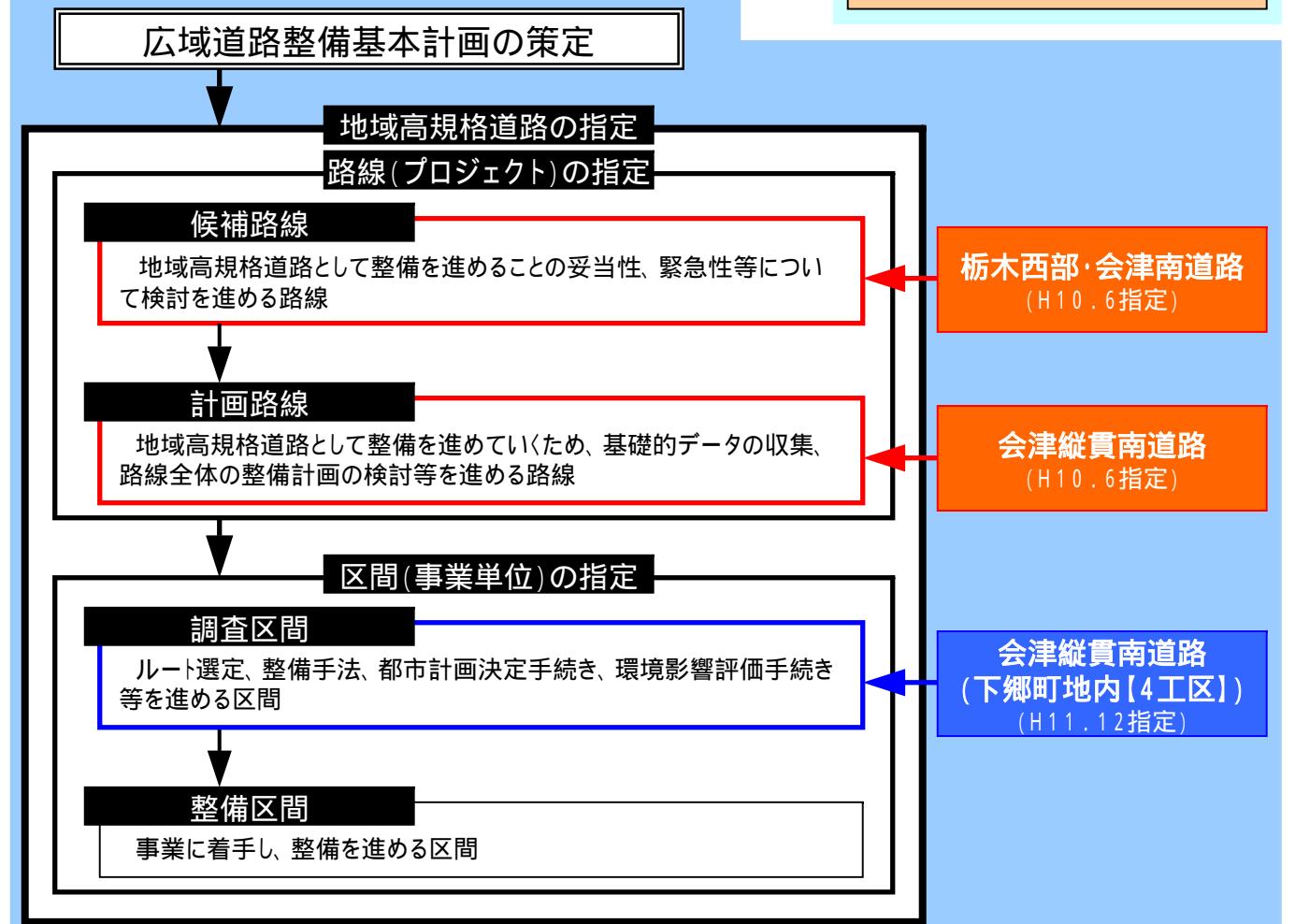


地域高規格道路について

地域高規格道路とは…

高速自動車国道等高規格幹線と一体的に機能する広域的な幹線道路のうち、自動車専用道路もしくはこれと同等の高い規格を有し、おおむね60km/h以上の高速サービスを提供できる道路。

地域高規格道路の流れ



基礎調査の意義

道路整備を合理的かつ効率的に推進するために、道路整備計画の策定および整備事業の前提となる経済、交通および測量に係る詳細かつ正確な情報の収集が必要。

候補路線での調査

地域高規格道路として整備を進めることが妥当性、緊急性等について検討を進めるため、経済調査、交通調査等を行う。
(地域の産業構造、道路及び道路網の現況、整備効果、交通量調査、意識調査等)

計画路線での調査

地域高規格道路として整備を進めていくため、基本ルートの選定、地形地質調査、環境の基礎的データの収集等を行う。
(航測図化、基本ルートの選定、地形地質調査、概略設計、環境文献調査等)

広域幹線道路

高規格幹線道路
サービス速度: 80 ~ 100km/h

地域高規格道路
サービス速度: 概ね60km/h以上

広域的な幹線道路
サービス速度: 30 ~ 40km/h

地域高規格道路

福島県土木部道路領域 2006.8.29

会津縦貫南道路 栃木西部・会津南道路

くらし・安全

リダンダンシーの確保

福島県と栃木県の境界付近で災害が発生し、国道4号や東北自動車道が通行止めとなった場合の広域的な代替ルートがない状況です。

通行の安定確保

当ルートには異常気象時や災害発生時に通行止めとなる通行規制指定区間があり、通行規制時には適切な迂回路がなく、移動が極めて困難な現状となっています。

緊急患者の搬送ルート確立

当ルートの沿線は重症救急患者を24時間受け入れる第3次医療施設までの搬送に60分以上を要する地域が大部分を占めています。



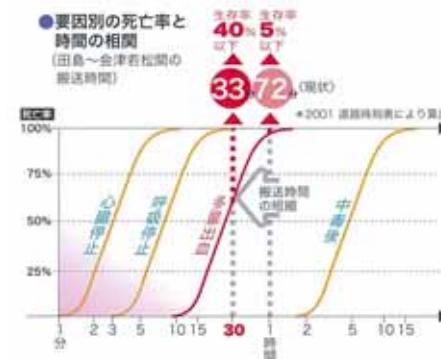
交流・連携

広域ネットワークの形成

当ルートは福島県の地域整備の骨幹を成す多極ネットワーク形成軸の一つとして、会津軸を形成するルートであり、栃木西部・会津南道路については栃木県の上位計画においても地域整備の骨格を成す道路の一つとして位置付けられています。

高速道路網の空白地帯の解消

南会津地域および栃木西部地域は高速交通体系の空白地帯であり、高速ICへのアクセスや他の地域との交流連携に大きな支障をきたしています。



地域振興・活力

観光の活性化

当ルートの沿線には大内宿、塔のへつりなど観光資源が多くあります。また、当ルートは日光、会津若松という観光地をつなぐ路線となっており、観光周遊化の促進による地域の活性化が期待されます。

産業活動の広域化

現道(国道121号)のトリップ長(1回に走行する長さ)は全国平均を上回る長さとなっており、広域流通の機能を担っております。



| 凡例 | 高速自動車国道 | 地域高規格道路 |
|------------------------|----------|---------|
| 供用区間 | 供用区間 | 供用区間 |
| 整備計画 (高速自動車専用) | 整備計画 | 整備計画 |
| 整備計画 (新規幹線) | 未施行命令 | 調査区間 |
| 基本計画 | 基本計画 | その他区間 |
| 予定路線 | 予定路線 | |
| 一般国道自動車専用道路 | 候補路線 | |
| 供用区間 | | |
| 事業中区間 | | |
| 計画区間 | | |
| 国土開発幹線自動車道に並行する自動車専用道路 | インターチェンジ | ジャンクション |
| 供用区間 | | |
| 事業中区間 | | |

